

┃試合会場レポート

V.LEAGUE DIVISION2 WOMEN ファイナル6

会場: ジェイテクト体育館

観客数:300

開始時間:12:00 | 終了時間:13:56 | 試合時間:1:56 | 主審:中山 健

副審:本間 明

IAぎふリオレーナ



監督 : 椿本 真恵 コーチ : 鈴木 智大

诵笪 : 3 勝 0 敗

ポ イント : **12**

<監督コメント>

追われる立場ということで群馬銀行

しかし、セットを失った後でも選手

がすぐに切り替えてプレーしたことが

応援してくださった方々、選手、ス

タッフ全員で勝ち取った1勝です。残

り2試合も応援よろしくお願いしま

勝ちにつながったと思います。

の勢いに押され、フルセットまでもつ

れる試合となりました。

す。

| | 19 | 第 1 セット 【 0:21 】 | 25 | |
|---|----|-----------------------------------|----|---|
| | 25 | 第2セット 【 0:23 】 | 17 | |
| 3 | 25 | 第 3 セット 【 0:22 】 | 17 | 2 |
| | 18 | 第4セット 【0:25】 | 25 | |
| | 15 | 第5セット 【0:13】 | 11 | |
| | | | | |

ポイント 【】内はセット時間 **ポイント** () 内は交代選手

| | | () 内极文化选士 | | | | |
|----|----|------------|----|------------|------------|----|
| | 吉井 | 山本 | 第 | 田中 | 斉藤 (古市) | |
| 19 | 田代 | 佐々木 | セッ | 安福 (上地) | 鈴木 | 25 |
| | 本間 | 今井 (中村) | ト | 栗田 (寺坂) | 新井 | |

リベロ:目加田

リベロ:吉岡

| | 吉井 | 山本 | 第 | 田中 | 斉藤 (古市) | |
|---------------|------------|-----|-----|------------|------------|----|
| 25 | 田代 (佐野) | 佐々木 | マセッ | 安福 (上地) | 鈴木 | 17 |
| | 本間 | 今井 | ト | 栗田 (寺坂) | 新井 | |
| U & D . E 100 | | | | | | |

リベロ: 目加田

| リベロ: 舌岡 |
|---------|
|---------|

| | 吉井 | 山本 | 第 | 田中 (愛宕) | 斉藤 (寺坂) | |
|----|------------|------------|-----|------------|------------|----|
| 25 | 田代 (佐野) | 佐々木 | ュセッ | 安福 (上地) | 鈴木 | 17 |
| | 本間 | 今井 (中村) | ト | 栗田 (古市) | 新井 | |
| | | | | | | |

リベロ: 目加田

リベロ:吉岡

| | 吉井 | 山本 (岩永) | 第 - 4 | 新井 | 斉藤 (寺坂) | |
|----------|------------|------------|-----------|------------|------------|----|
| 18 | 田代 | 佐々木 | せっ | 安福 | 鈴木 | 25 |
| | 本間 (齊藤) | 今井 (中村) | <u>ار</u> | 栗田 (古市) | 愛宕 | |
| リベロ: 目加田 | | | | リベロ:吉岡 | | - |

| | 吉井 | 山本 | 第 | 新井 (田中) | 寺坂 (栗田) | |
|----|------------|------------|-----|-------------|------------|----|
| 15 | 田代 (佐野) | 佐々木 | っセッ | 安福 | 鈴木 | 11 |
| | 本間 | 今井 (中村) | ト | 古市 (斉藤) | 愛宕 | |
| 11 | | | | U .s = ±157 | | |

リベロ:目加田

リベロ: 吉岡

群馬銀行グリーンウイングス



監督 : 石原 昭久

コーチ : 須崎 杏

诵笪 2 勝 1 敗

ポイント : 10

<監督コメント>

本日のゲーム、スタートから緊張感 の高い好ラリーが続いた中で、第1 セットを先取することができた。

第2セットもスタートはサーブの効 果から一気に連続得点となったもの の、その後攻撃陣がブロックにつかま り流れを持っていかれると、続く第3 セットも終始相手にゲームを支配され る展開を強いられた。

悪い流れのまま、第4セットがス タートし、展開そのまま中盤まで相手 にリードを許したが、途中出場のセッ ター古市、レフト愛宕、ライト寺坂の 活躍によりデュースに持ち込めた。

しかし第5セット、再び中盤に相手 に走られ勝負あり。レギュラーラウン ドとは違い、やはりファイナルは一つ のミスを許してくれないレベルである ことを痛感した試合であった。

<要約レポート>

ファイナル6では、共に2連勝の2位]Aぎふリオレーナと3位群馬銀行グリーンウイングスの一戦は、セットカウント3-2でJAぎふが勝利した。力の拮抗してい るチーム同士、随所に粘りのある素晴らしいプレーがあり、見ごたえのある試合となった。

第1セット、JAぎふは今井、吉井、山本を中心にアタックで得点を重ねる。対する群馬銀行は、斉藤、安福が得点を重ねる。一進一退の勝負が続くが、15—15から 群馬銀行は田中のアタック、ブロックで連続ポイント。流れをつかんだ群馬銀行は、最後は新井のアタックでセットを先取した。

第2セット、群馬銀行の勢いは止まらず田中の活躍でリードするが、**JA**ぎふも今井のアタックを皮切りに反撃。その後は**JA**ぎふが吉井の力強いアタックでブロック をはじくなど得点を重ね、リズムを作る。セッター本間も、ブロックやサーブで得点をあげ活躍。**JA**ぎふが**25—17**でセットを取り返した。

第3セット、JAぎふの攻撃が冴え、終始リード。群馬銀行は愛宕を投入し流れを変えたかったが25-17でJAぎふが連取した。

第4セット、群馬銀行は苦しいスタートとなるが、このセットからスタメンに入った愛宕の活躍もあり、25—18でセットを取り、フルセットに持ち込む。

第5セット、攻撃の力を最大限に出し切ったJAぎふがセットを取った。群馬銀行も斉藤、愛宕のブロックを弾き飛ばす強烈なアタックで一矢報いたが、一歩及ばな かった。

作成者: 姫野 真行